

# ボランティアセミナー

**趣旨** 青少年教育施設におけるボランティア活動についての目的や内容を理解するとともに、意欲を行動につなげる具体的な手立てを学ぶ取組で、ボランティア活動の実践力を身に付ける。

## 企画運営のポイント

1. 演習に関する内容を一新し、より野外での活動における指導や安全管理について学べるよう企画した。
2. 先輩ボランティアやゲストスピーカーとの交流の機会を多く設定し、ボランティア活動について具体的なイメージをもてるようにした。

**期日** 令和7年5月24日（土）～令和7年5月25日（日）

**対象** ボランティア活動に興味のある高校生、大学生、社会人

**人数** 高校生3名 大学生28名 社会人1名 計32名

## 内容

5月24日（土）

- ① 講義 : 青少年教育を学ぼう！
- ② 講義 : 青少年教育施設とは？  
講師 国立日高青少年自然の家 所長 山下 達也
- ③ 講義・演習 : 野外活動におけるリスクマネジメント  
講師 国立日高青少年自然の家 NEAL 主任講師 和泉 友喜
- ④ 講義 : ボランティア活動の意義  
講師 国立日高青少年自然の家 次長 松浦 賢一
- ⑤ 説明 : ボランティア活動に踏み出そう！  
ゲストスピーカー NPO 法人 E-LINK 理事 奥平 啓太 氏

⑥ 交流タイム : ボラ交流カフェ

5月25日（日）

- ⑦ 講義・演習 : 体験活動の“わざ”を極めよう！！
- ⑧ 説明 : 法人ボランティア制度について

## 参加者の声

- ・ボランティアの定義について理解することができ、今まで考えたことがなかったものを学べた。
- ・立場が変わった時にどう対応するのか学べた。
- ・ボランティアの際に、どのような危険が潜んでいるのかを考えることが重要だと理解でき、考えることができるようになった。
- ・これまで、「リスクマネジメント」という言葉は知っていても具体的な考え方は分らなかったのので、そのことを知れたし、トレッキングで実践できた。
- ・沢山のことを学び、沢山のことを感じ、今までの人生にはない新鮮な経験や活動を行い、あらためて人の温かさや世界の広さを感じ、勇気ももらった。
- ・実際の経験からの情報を聞いたことでボランティアをしたらどんな様子なのかを知ることが出来た。
- ・他大生とのグループワークや交流を通してとても有意義な時間になった。また社会教育としても様々な技術を得ることができた。

## 【成果】

- ・事業アンケートにおいて、「ボランティアセミナーを受講して、ご自身の指導技術は高まったと思いますか？」の質問に対して、「ボランティアの際に、どのような危険が潜んでいるのかを考えることが重要だと理解でき、考えることができるようになった。」や「これまではリスクマネジメントという言葉は知っていても具体的な考え方は分らなかったののでそういうことを知れたし、トレッキングで実践できた。」という声から、参加者のリスクマネジメントの理解と指導技術の向上につながった。
- ・事業アンケートにおいて、「ボランティアセミナーでのボランティアの指導・助言や対応はいかがでしたか？」の質問に対して「立場が変わった時にどう対応するのか学べた。」や「実際の経験からの情報を聞いたことでボランティアをしたらどんな様子なのかを知ることができた。」という声から先輩ボランティアの経験談を聞く場を設定したことにより、ボランティア活動に関する興味関心の向上につながった。

## 【課題】

- ・野外での活動に関する装備や服装など、参加者への事前の指導の仕方を工夫する必要がある。

